

夏休みの思い出 がいっぱい

～夏休み期間中の図書館行事にたくさんの
子どもたちが参加してくれました～



大工さん遊びをしよう (本館) 8/4

図書館本館前で、大工歴 30 年の高見敦義さん（下甲、53 歳）に、のこぎりやトンカチの使い方を教えてもらい、板を切って船を作りました。高見さんは「のこぎりは押さずに、刃をいっぱい使って手前に引くこと」とアドバイス。

参加した金田裕太朗くん（大山西小 3 年）は「初めてだったので最初は難しかった。船はマストを立てて庭の池に浮かべたい」と話していました。



科学遊び「スライム作り」 (名和分館) 8/18

今年度の“科学遊び第 1 弾”として、「スライム作り」に挑戦しました。ネバネバぷよぷよした、液体でも固体でもないゼリー状の不思議な塊、スライム。米子高専の藤井雄三先生の指導で、自分流の色付けをして、流れそうで流れない奇妙なスライム作りを楽しみました。



お話会・夏休みスペシャル！ (名和分館) 7/22

とつけきお話隊のみなさんによるお話会の様子です。夏休みに入ったばかり、たくさんのご家族に来ていただき、会場は超満員。エプロンシアターで「あてっこあそび」をして大いに盛り上がったあと、お話を楽しみました。

中でも 1 枚の新聞から、どんどんお話がすすんでいくペーパーサート「ペーパーさん」では、新聞紙が、家や、舟、帽子など変わるたびに、驚きの声があがっていました。



音楽とおはなしひろば (大山分館) 8/4

歌に合わせてラテン楽器とメロディベルを体験しました。洗濯板のようなギロ、拍子木のようなクラブスなど楽しい楽器がズラリ。また、みんなが音階によって色の違うベルを持ち、「きらきら星」に挑戦。門脇めいこさん（所子音楽講師）のピアノ伴奏に合わせ、きれいに音が揃うと、会場から歓声が上がりました。

最後は、両端の紙を引っ張ると画面が変わるヘンシン絵本作り。幼虫がクワガタに、プレゼントの箱がケーキに変身したり、花火が上がる様子を表現する子どもも。楽しい創作絵本ができました。